

21 良好な市街地の形成			
主管課名	都市整備部 都市計画課		
主管課長名	奥山 尚	電話番号	042-482-7540
関係課名 (組織順)	産業振興課, 農政課, 環境政策課, 緑と公園課, 住宅課, 街づくり事業課, 道路管理課, 建築指導課		
目的	対象	市内全域	
	意図	便利で快適になる	
施策の方向	都市計画の最上位計画である調布市都市計画マスタープランを基本として、適切な土地利用を推進するとともに、市民の身近な景観の価値を高める景観街づくりを推進し、利便性と快適性を兼ね備えた良好な市街地を形成します。		

<施策と関連するSDGsの目標（ゴール）>



1 令和元年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
<p>施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）</p> <p>(21-1 適正な土地利用の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランは都市計画法第18条の2により市の都市計画（まちづくり）分野の最上位計画として平成10年6月策定、以後変化のあった社会経済情勢やまちづくりの動向などを踏まえ平成26年9月に改定を実施しており、令和4年度に目標年次を迎えることから、次期マスタープランの策定に向けた調査・検討を行った。 <p>(21-2 景観まちづくりの推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 景観計画・景観条例の運用については、景観行政団体として景観計画や景観条例などの景観法の諸制度を活用し、景観アドバイザーからの助言等を踏まえ、事業者との協議・調整をすることで、良好な景観形成を推進した。 公共サイン計画の検討・運用については、公共サイン整備方針及び公共サイン整備ガイドラインに基づき、外国人を含む利用者の立場に立ったわかりやすく親しみやすい公共サイン整備を推進するとともに、適切な維持管理を図った。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 国分寺崖線景観形成重点地区における開発事業等の計画の際、具体的な緑の配置方法や樹種選定の手引きとして活用できる「景観形成ガイドライン（緑の景観づくり国分寺崖線編）」を作成した。 <p>■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」</p> <ul style="list-style-type: none"> ラグビーワールドカップ2019の開催に当たり、東京スタジアムで試合を行った各国の国旗や競技会場までの誘導サインを表記した街区表示板を旧甲州街道沿いに19枚設置した。 <p><令和元年度における施策の成果についての総括></p> <ul style="list-style-type: none"> 次期都市計画マスタープランの策定に向け、将来人口や土地利用動向などの現況や課題を踏まえたまちづくりの理念や将来都市像などの調査・検討を行った。 景観まちづくりの推進については、景観法に基づく24件の届出や2件の通知及び景観条例に基づく11件の事前協議により、周辺と調和した街並みへの誘導を図った。 国分寺崖線景観形成重点地区における開発事業等の計画の際、具体的な緑の配置方法や樹種選定の手引きとして活用できる「景観形成ガイドライン（緑の景観づくり国分寺崖線編）」を作成し、崖線の地形や既存の植生を尊重した緑の景観づくりを進めた。 開催年であったラグビーワールドカップ2019や東京2020大会の開催を見据え、スポーツ祭東京2013の時に飛田給駅から競技会場までに設置した誘導サイン等の整備・更新や飛田給駅北口広場と主要市道32号線（スタジアム通り）の市境に歩行者用観光案内標識を各1基設置するとともに、ラグビーワールドカップ2019の開催に当たり、東京スタジアムで試合を行った各国の国旗や競技会場までの誘導サインを表記した街区表示板を旧甲州街道沿いに19枚設置することにより、国内外来訪者の回遊性の向上を図った。 	

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標、◎：総合戦略における指標】		基準値 (基準年度)	単位	実績値 令和元年度	目標値 令和4年度
1	住みやすいと感じている市民の割合【☆、◎】	93.0 (H30)	%	94.2	95.0
2	市内に優れた景観があると感じている市民の割合【☆、◎】	82.5 (H30)	%	85.1	90.0
【備考】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	66	重点P	-	-
事務事業	都市計画マスタープランの運用			
所管部署	都市整備部・都市計画課・都市計画係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○都市計画マスタープランの運用、策定 ○地域別街づくり方針の運用、見直し着手 ○用途地域等に関する指定方針・指定基準の策定、運用	○都市計画マスタープランの運用	○都市計画マスタープランの運用	○都市計画マスタープランの運用、策定検討
		○用途地域等に関する指定方針・指定基準の運用	○用途地域等に関する指定方針・指定基準の運用・検討・情報収集	○地域別街づくり方針の運用、見直し着手
事業費 (千円)		5,036	5,036	4,642
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	67	重点P	-	-
事務事業	地区計画制度を活用した街づくり			
所管部署	都市整備部・都市計画課・地域支援係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○地区計画制度を活用した街づくりの推進	○多摩川住宅地区の検討 ○柴崎駅周辺地区の検討 ※N○79(道路ネットワークの形成)と連動 ○調布駅周辺地区の検討 ○京王多摩川駅周辺地区の検討 ○深大寺周辺地区の検討 ○国領町8丁目周辺地区の検討	○柴崎駅周辺地区の検討 ○調布駅周辺地区の検討 ○深大寺周辺地区の検討	○柴崎駅周辺地区・つつじヶ丘駅周辺地区の検討 ○調布駅周辺地区の検討 ○京王多摩川駅周辺地区の検討 ○深大寺周辺地区の検討
		○その他地区の検討 (西調布駅周辺地区ほか) ○地区施設等測量	○その他地区の検討 ○地区施設等測量	○その他地区の検討 (調布市北部地区ほか)
事業費 (千円)		17,000	17,000	14,599
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	68	重点P	⑤	人と自然が共生するうるおいのあるまち
事務事業	景観計画・景観条例の運用			
所管部署	都市整備部・都市計画課・景観係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○景観法を活用した景観まちづくりの推進	○景観計画に基づく届出制度の運用 ○景観形成推進地区(駅)の見直し検討 ○景観学習の推進	○景観計画に基づく届出制度の運用 ○景観形成推進地区(駅)の調査・検討 ○景観学習の推進	○景観計画等検討調査 ○景観計画に基づく届出制度の運用 届出及び通知 26件 ○景観形成推進地区(駅)の調査・検討 ・先進事例視察ほか ○景観学習の推進 ・景観シンポジウムの開催 ・景観まちづくり市民検討会の開催(5回)
	事業費(千円)	4,500	4,500	4,026
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	69	重点P	-	-
事務事業	公共サイン計画の検討・運用			
所管部署	都市整備部・都市計画課・景観係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○公共サインの整備及び計画的な維持管理	○競技会場周辺の公共サイン整備(飛田給駅)	○競技会場周辺の公共サイン整備(飛田給駅)	○競技会場周辺の公共サイン整備(飛田給駅) ・飛田給駅周辺誘導サイン盤面作製 (盤面変更:誘導サイン9基,ピクトサイン11枚) ・歩行者用観光案内標識盤面データ調査作成 ・飛田給駅周辺歩行者用観光案内標識作製(新設2基) ・街区表示板作製(新設19枚)
	事業費(千円)	19,568	19,568	12,768
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

22 地域特性を生かした都市空間の形成			
主管課名	都市整備部 街づくり事業課		
主管課長名	齊藤 宗	電話番号	042-481-7401
関係課名 (組織順)	産業振興課, 下水道課, 都市計画課, 住宅課, 道路管理課, 交通対策課		
目的	対象	市内全域	
	意図	地域特性を踏まえ, 多様な機能が調和し, 人々が集い, 活気とにぎわい, うるおいとやすらぎがある京王線の地下化を機に, 駅前広場や鉄道敷地周辺への都市機能の集積や, ゆとりある空間の確保により, 魅力ある中心市街地を形成するとともに, 地域の特性を生かした質の高い都市空間を形成します。	
施策の方向			

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)	
(22-1 魅力的な中心市街地の形成)	<p>・調布駅前広場整備について, 北側ロータリーの上屋工事を実施するとともに, 社会情勢の変化や広範な市民の声を踏まえ, 「令和7年度完成を前提に, 南側ロータリーの一部を修正」していくこととし, 着実な推進を図った。</p> <p>・鉄道敷地整備について, 駐輪場, 公園, 公共施設等の整備が完了し, 中心市街地の活性化に寄与した。</p> <p>・調布駅, 国領駅周辺の区画道路等の整備を進め, 交通の円滑化, 中心市街地の活性化に寄与した。</p> <p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」</p> <p>・調布駅前広場整備について, 社会情勢の変化や広範な市民の声を踏まえ, 市の方針を決めた。</p> <p>■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」</p> <p>・ラグビーワールドカップ2019において, 調布駅前広場でファンゾーンが展開された。</p> <p>②調布のまちの魅力発信</p> <p>・都内でも有数の規模をほこる調布駅前広場について, 交通結節機能だけでなく, 広場空間の充実を図り, まちの魅力発信につなげた。</p>
(22-2 駅周辺におけるまちづくり)	<p>・各駅周辺のまちづくりを進めるため, つつじヶ丘駅南側の都市計画道路(調布3・4・21)用地の取得を行うとともに, 飛田給駅西側の踏切拡幅に伴う, 接続道路の整備を実施して, 交通環境の改善に寄与した。</p> <p>・柴崎駅周辺では, 歩行者の安全性確保のため, 歩行空間の明示等を実施した。</p> <p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」</p> <p>・ラグビーワールドカップ2019開会までに, 飛田給駅西側の踏切拡幅及び接続道路整備を完了させ, 歩行者の安全性が向上した。</p> <p>②調布のまちの魅力発信</p> <p>・市内各駅周辺の利便性向上を図り, まちの魅力発信につなげた。</p>
(22-3 深大寺地区におけるまちづくり)	<p>・地区にふさわしい土地利用の誘導と緑の保全等について検討を進めるとともに, 平成24年11月に策定した深大寺地区街なみ整備基本計画に基づき歩行者の安全・安心の確保と回遊性を高めながら風情ある街なみ景観の維持・保全を図るなど魅力向上に取り組んだ。</p> <p>②調布のまちの魅力発信</p> <p>深大寺周辺の整備を進め, 国宝に指定された深大寺白鳳仏を中心に積極的に魅力発信した。</p>
< 令和元年度における施策の成果についての総括 >	
<p>・調布駅前広場整備について, 社会情勢の変化や広範な市民の声を踏まえ, 「令和7年度完成を前提に, 南側ロータリーの一部を修正する」市の方針を決め, 早期完成に向け着実に推進した。</p> <p>・鉄道敷地整備について, 駐輪場, 公園, 公共施設等の整備が完了し, 残る緑道整備に向け用地取得を進め, 中心市街地活性化に寄与した。</p> <p>・街なみ環境整備事業として, 令和4年度以降に予定している市道北138号線(参道), 市道北137号線(寺前通り)ほかの遊歩道・散策路等の整備に向け, 課題等の整理を行うとともに, 都市計画公園神代公園に指定されている当該地区の目指すまちづくりの課題を整理し, 東京都と意見交換を行った。</p>	

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標、◎：総合戦略における指標】		基準値 (基準年度)	単位	実績値 令和元年度	目標値 令和4年度
1	中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合【☆, ◎】	67.8 (H30)	%	67.1	80.0
2	駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合【☆, ◎】	67.0 (H30)	%	69.7	80.0
3	深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合【☆, ◎】	89.0 (H30)	%	89.6	90.0
【備考】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	70	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち	
事務事業	駅前広場の整備				
所管部署	都市整備部・街づくり事業課・整備係				
活動内容	計画目標	令和元年度			
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)	
活動内容	○調布駅前広場 ○布田駅前広場 平成26年度道路部完成 平成28年度上屋工事 平成29年度上屋完成 ○国領駅前広場 平成27年度道路部完成 平成28年度完了,上屋工事 平成29年度上屋完成 ○調布駅開口部 ○その他	○調布駅前広場 ・北側：上屋工事 ・南側：設計等 ○広場空間機能の検討	○調布駅前広場 ・北側：上屋工事 ・南側：設計等 ○広場空間機能の検討	○調布駅前広場 ・北側：上屋工事 ・南側：用地取得（繰越） ・市民参加の実施 ・調布駅前ひろば検討会 ・アンケート調査 ・オープンハウス ○広場空間機能の検討	
		事業費 (千円) 456,307 債務負担行為等による用地取得費 0	456,307 0	456,307 0	756,111 0

計画コード	71	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち	
事務事業	鉄道敷地の整備				
所管部署	都市整備部・街づくり事業課・整備係				
活動内容	計画目標	令和元年度			
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)	
活動内容	○鉄道敷地の整備	○鉄道敷地の整備 ・緑道（測量・設計, 用地取得） ・都市公園（整備） ※No89「公園・緑地等の整備で計上」	○鉄道敷地の整備 ・緑道（測量・設計, 用地取得） ・都市公園（整備） ※No89「公園・緑地等の整備で計上」	○鉄道敷地の整備 ・緑道・生活道路等（測量・設計・用地取得） ・都市公園（整備） ※No89「公園・緑地等の整備で計上」	
		事業費 (千円) 623,424 債務負担行為等による用地取得費 0	623,424 0	623,424 0	601,577 0

計画コード	72	重点P	-	-
事務事業	面的整備手法を活用したまちづくりの促進			
所管部署	都市整備部・街づくり事業課・事業計画係・整備係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○調布駅北第1A地区市街地再開発事業の促進 ○調布駅北第1B地区市街地再開発事業の促進 ○調布駅南口東地区市街地再開発事業の促進 ○調布駅南口中央地区の基礎調査	○調布7・5・1号線の整備 ・設計等 ・用地取得 ○市道南20号線の整備 ・用地取得 ○調布駅南口中央地区の検討	○調布7・5・1号線の整備 ・設計等 ・用地取得 ○市道南20号線の整備 ・用地取得 ○調布駅南口中央地区の検討 ・事業計画検討	○調布7・5・1号線の整備 ・用地取得 ○市道南20号線の整備 ・用地取得 ○調布駅南口中央地区の検討 ・事業計画検討
	事業費 (千円)	838,780	838,780	736,570
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	73	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
事務事業	中心市街地における区画道路等の整備			
所管部署	都市整備部・街づくり事業課・整備係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○調布区画1号 ○調布区画2号 ○調布区画3号 ○調布区画7号 ○調布区画9号 ○調布区画11号 ○調布区画12号 ○調布区画13号 ○国領歩専道1号 ○国領歩専道2号 ○国領区画街路6~8号の間 ○市道西100号線 ○その他	○調布駅周辺の区画道路等の整備 ・布田2・3丁目地内道路	○調布駅周辺の区画道路等の整備 ・布田2・3丁目地内道路	○調布駅周辺の区画道路等の整備 ・調布区画道路9号の整備 ・調布区画道路12号の用地取得 ○国領歩行者専用道路1号等の整備
	事業費 (千円)	89,711	89,711	103,098
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	74	重点P	-	-
事務事業	交通環境の改善による駅周辺のまちづくり			
所管部署	都市整備部・都市計画課・地域支援係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○駅周辺におけるまちづくり	○交通環境改善に向けた検討(柴崎駅) ○交通環境改善に向けた検討(西調布・つつじヶ丘駅)	○交通環境改善に向けた検討(柴崎駅) ○交通環境改善に向けた検討(西調布・つつじヶ丘駅)	○交通環境改善に向けた検討(柴崎駅) ○交通環境改善に向けた検討(西調布・つつじヶ丘駅)
	事業費 (千円)	5,000	5,000	0
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	75	重点P	⑤	人と自然が共生するうるおいのあるまち		
事務事業	深大寺地区におけるまちづくりの推進					
所管部署	都市整備部・都市計画課・地域支援係					
活動内容	計画目標	令和元年度				
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)		
	○深大寺地区におけるまちづくりの推進	○街なみ環境整備事業の実施 ・街なみ整備助成事業	○街なみ環境整備事業の実施 ・街なみ整備助成事業	○深大寺地区の街づくり検討		
		○深大寺地区の街づくり検討	○深大寺地区の街づくり検討			
事業費 (千円)	1,000	1,000	0			
債務負担行為等による用地取得費	0	0	0			

23 良好な住環境づくり			
主管課名	都市整備部 住宅課		
主管課長名	山田 鑑三	電話番号	042-481-7544
関係課名 （組織順）	総合防災安全課, 高齢福祉担当, 障害福祉課, 環境政策課, 都市計画課, 街づくり事業課, 建築指導課		
目的	対象	市民	
	意図	安全で安心して快適に住み続けられる	
施策の方向	住宅の「質」の向上を推進し、住宅の耐震化、バリアフリー化、省エネルギー化を進めることにより、安全・安心で災害に強い良質な住環境づくりを推進するとともに、既存住宅ストックの活用や、超高齢社会に対応する住環境を形成します。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績（DO）

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）	
<p>（23-1 安全・安心な住環境づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業では、旧耐震基準の沿道建築物所有者を訪問し、補強設計、耐震改修など耐震化の促進に取り組み、令和元年度末時点で耐震化率は45.1%と前年度から2.8ポイント上昇した。 ・住宅の耐震化の促進では、耐震相談窓口の設置や建物の耐震化に係る費用の一部助成などの支援に取り組んだ。 ・木造住宅では、市報や市ホームページによる耐震化に向けた助成制度等の支援制度の周知を図るとともに、平成29年度からの4か年事業として、旧耐震基準の木造住宅の戸別訪問事業を実施し普及啓発を継続して行った。 ・分譲マンションでは、マンション管理組合に対して、支援制度の周知・啓発を図るとともに、平成30年度からの3か年の事業として、旧耐震基準の分譲マンション管理組合等の訪問事業を実施した。また、マンションの適正な維持管理に向け東京都と連携し東京都条例に基づく対応準備を行った。 	
<p>（23-2 良好な居住環境の形成と支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住環境改善の主な取組については、高齢化社会への対応を目的として、個人住宅等のバリアフリー適応住宅改修工事費用の一部を補助することにより、良好な居住環境の整備と支援に取り組んだ。 ・省エネルギー事業については、低炭素まちづくり及び環境負荷の軽減として、太陽光発電設備取り付け等への補助、民生用燃料電池購入への補助を実施し、環境に配慮した快適な居住環境の整備と支援に寄与した。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ1 「地域共生社会の実現に向けた取組」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅確保要配慮者（高齢者、障害者、子育て世帯等）の民間賃貸住宅への入居支援の取組について、調布市居住支援協議会の中で課題を整理し、今後の支援策等を検討し更なる施策の展開を図った。 ・住宅の「質」の確保の推進、また、高齢化社会に対応するため、バリアフリー化等の事業を推進し、安全・安心な住環境の形成を図った。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住支援の推進については、住宅セーフティネット法に基づき、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居支援事業等について、不動産団体及び居住支援団体等と連携し、前年度に引き続き調布市居住支援協議会を4回開催するとともに、「住まいぬくもり相談室」による物件情報の提供や福祉サービス、行政支援などの紹介、入居時の費用負担を軽減する仲介支援事業や家賃等債務保証支援を継続して実施した。 	
<p>（23-3 空き家対策の推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調布市ならではの空き家等対策の取組を推進するため、空き家等対策における理念や危険な空き家等に対する措置、行政、市民所有者等の義務を定めた「空き家等の対策の推進に関する条例」の制定及び、空き家の予防保全、利活用等に係る空き家等対策計画の策定に向け、学識経験者をはじめ各専門分野の方々に参画いただく中で、条例制定と連動する計画の策定を行うことができた。また、国や東京都の補助制度を積極的に活用し、空き家等対策の啓発や各種事業を拡充して展開を図った。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理不全の空き家は、防火・防犯、倒壊危険、不法投棄、樹木等の繁茂等の複数の特性を有する事案が多く、庁内関係部署との情報共有や更なる連携が重要。また、空き家の予防や利活用対策における横断的連携のもと対策等を検討した。 	

<令和元年度における施策の成果についての総括>

- ・特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業の耐震化の取組では、耐震化率が2.8ポイント上昇した。
- ・居住環境改善の促進の取組では、バリアフリー適応住宅改修件数、太陽光発電設備が大幅に増加した。
- ・住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居支援について、仲介支援事業5件、債務保証支援事業4件と昨年度と同数の費用助成を行った。
- ・空き家等対策については、空き家等の対策の推進に関する条例制定や空き家等対策計画を策定のほか、産学官連携による空き家等対策に対する各種取組を行った。

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標，◎：総合戦略における指標】	基準値	単位	実績値	目標値
	(基準年度)		令和元年度	令和4年度
1 市内の住宅（一戸建て，分譲マンション等）の耐震化率【☆，◎】	85.8 (H29)	%	87.5	97.0
2 バリアフリー対応住宅に住んでいると答えた市民の割合【☆，◎】	51.7 (H30)	%	48.9	65.0
3 空き家とならないための予防策が必要であると感じている市民の割合【☆】	-	%	67.6	80.0
【備考】				
<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度の市民意識調査では、前年度調査より2.8ポイント下がったが、バリアフリー適応住宅改修補助の申請件数は、平成29年度は51件、平成30年度は71件、令和元年度は91件と増加した。 ・「空き家とならないための予防策が必要であると感じている市民の割合」は、令和元年度市民意識調査にて現状値を把握し、目標値を設定した。 				

2 基本計画事業取組実績

計画コード	76	重点P	-	-
事務事業	住宅の耐震化の促進			
所管部署	都市整備部・住宅課・住宅支援係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○令和4年度末木造住宅及び分譲マンション等の住宅耐震化率 97パーセント	○木造住宅の耐震化	○木造住宅の耐震化 ・普及啓発 ・耐震アドバイザー ・耐震診断 ・耐震改修	○木造住宅の耐震化 ・普及啓発 ・耐震アドバイザー 47件 ・耐震診断 12件 ・耐震改修 16件
		○分譲マンション耐震化	○分譲マンション耐震化 ・普及啓発 ・耐震アドバイザー ・耐震診断 ・補強設計 ・耐震改修	○分譲マンション耐震化 ・普及啓発 ・耐震アドバイザー 5件 ・耐震診断 2件
事業費 (千円)		41,940	41,940	23,100
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	77	重点P	-	-
事務事業	良好な住環境の形成・支援			
所管部署	都市整備部・住宅課・住宅支援係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○住宅のバリアフリー化向上	○居住環境支援事業	○居住環境支援事業 ・バリアフリー	○居住環境支援事業 ・バリアフリー 93件
	○太陽光発電設備取付け促進 ○民生用燃料電池設置促進	○環境負荷軽減促進事業	○環境負荷軽減促進事業 ・太陽光発電 ・民生用燃料電池	○環境負荷軽減促進事業 ・太陽光発電 65件 ・民生用燃料電池 152件
	○住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進 ○空き家等の利活用等に係る施策検討	○居住支援協議会運営	○居住支援協議会運営 ・委員謝礼等 ・相談窓口事業 ・仲介支援 ・債務保証	○居住支援協議会運営 ・委員謝礼等 ・相談窓口事業 ・仲介支援 5件 ・債務保証 4件
事業費 (千円)	16,711	16,711	21,821	
債務負担行為等による用地取得費	0	0	0	

計画コード	78	重点P	-	-
事務事業	空き家等対策の推進			
所管部署	都市整備部・住宅課（及び建築指導課）・空き家施策担当			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○空き家等対策計画の検討	○空き家等対策計画の策定	○空き家等対策計画の策定	○空き家等対策計画案の公表、パブリックコメントの実施
	○協議会の設置	○空き家等対策検討委員会の運営	○空き家等対策検討委員会の運営	○空き家等対策推進協議会の設置 ○空き家等対策検討調査の実施
	○実施体制と法令整備			○官民連携事業の実施協定の締結、合同研究 ○空き家流通促進モデル構築事業、空き家等対策予防モデル構築事業の実施
事業費 (千円)	11,697	11,697	27,512	
債務負担行為等による用地取得費	0	0	0	

24 安全で快適なみちづくり			
主管課名	都市整備部 道路管理課		
主管課長名	戸谷 恒一郎	電話番号	042-481-7407
関係課名 (組織順)	総合防災安全課, 都市計画課, 街づくり事業課, 用地課		
目的	対象	市内全域の道路	
	意図	安全, 快適, 円滑に通行できる	
施策の方向	周辺環境への配慮と歩行者空間の確保を図りながら, 円滑に移動できる道路網の整備を計画的に進め, 歩行者・自転車・自動車など道路を利用するすべての人たち並びに沿道住民にとって, 安全で快適なみちづくりを推進するとともに適切な維持管理に取り組みます。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)	
(24-1 円滑に移動できる道路網の整備)	<p>・引き続き, 生活道路, 区画道路, 都市計画道路整備を推進し, 約 1,886 m²の用地取得を行うとともに, 延長約 419mの築造工事を行い, 交通の円滑化, 歩行者の安全確保, 回遊性の向上等に寄与した。</p> <p>・調布市道路網計画で位置付けた計画検討路線や廃止候補路線について, 計画変更及び廃止に向け方向性を検討した。</p> <p>・北ノ台小学校周辺において, カラー舗装の施工等, 機能確保の取組を実施し, 児童の安全性向上に寄与した。</p> <p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <p>・交通環境の向上を図るため, 「調布市道路網計画」に基づき都市計画道路と生活道路の一体的な整備を推進し, 安全性や回遊性の向上等を図り, まちの活性化を図った。</p> <p>②調布のまちの魅力発信</p> <p>・京王線が地下化された中心市街地での道路整備を進めて回遊性を高め, まちの活性化を図った。</p>
(24-2 人と環境にやさしい道路空間の整備)	<p>・低騒音排水性舗装の実施や歩道のバリアフリー化による, 人と環境にやさしい道路空間の創出を図るため, スタジアム前歩道橋の改修工事を実施したほか, スタジアム通り (主要市道32号線) の甲州街道から府中市境間について, より歩きやすい歩道を整備した。また, 品川通り (主要市道12号線) の中央自動車道交差点付近から府中市境間について, 低騒音排水性舗装とともに歩道のバリアフリー化を進めた。</p> <p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <p>・ユニバーサルデザインに配慮した交通環境の向上を図るため, 人と環境にやさしい道路空間の整備を推進し, 環境に配慮した道路, だれにもやさしい安全な道路整備に取り組んだ。</p> <p>・自転車走行空間の整備を進めるため, 「自転車ネットワーク計画」に基づき, 品川通り (主要市道12号線) の整備を進め, 安全で快適に通行できる交通環境の実現に向け取り組んだ。</p> <p>■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」</p> <p>・スタジアム通り (主要市道32, 33号線) や品川通り (主要市道12号線) について, 人と環境にやさしい道路整備による再整備を実施し, 市民や来訪者の回遊性を高めた。</p> <p>■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」</p> <p>・スタジアム通り (主要市道32, 33号線) や品川通り (主要市道12号線) について, 歩道の段差解消によるバリアフリー化を推進した。</p>
(24-3 道路施設等の総合的な管理の推進)	<p>・市が管理する道路施設について, 老朽化対策・維持管理費用の縮減を目的として, 効率的・効果的な道路の維持管理を推進していくために, 管理物の台帳化や点検を実施し, (仮称) 道路総合管理計画の策定に係る各種検討を行った。</p> <p>・地籍調査事業については, 国の第7次国土調査事業十箇年計画の検討とあわせて, 市の計画案を取りまとめた。</p> <p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>・道路施設等の総合的な管理の推進に向け, (仮称) 公共施設マネジメント計画等諸計画との整合を図りつつ, 「(仮称) 道路総合管理計画」等の諸計画の策定について検討した。</p>

<令和元年度における施策の成果についての総括>

- ・道路網計画に基づき、生活道路、都市計画道路、区画道路等の整備を着実に推進するとともに、東京2020大会に向け、スタジアム通りや品川通りの再整備を着実に実施した。
- ・(仮称)道路総合管理計画に係る検討の初年度として、道路施設等の現状把握に努めるとともに、各種台帳の整備に向けた取組を推進した。

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標、◎：総合戦略における指標】	基準値	単位	実績値	目標値
	(基準年度)		令和元年度	令和4年度
1 自宅などから目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合【☆】	72.0 (H30)	%	50.0	75.0
2 普段利用している道路が通行しやすいと感じている市民の割合(徒歩)【☆】	58.6 (H30)	%	57.4	60.0
3 道路に関する市民からの要望件数【☆】	1,443 (H29)	件	1,374	1,100
4 普段利用する市内の道路が安全であると感じている市民の割合【◎】	51.7 (H30)	%	54.4	60.0
【備考】				

2 基本計画事業取組実績

計画コード	79	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
事務事業	道路網計画に基づく計画的な道路ネットワークの形成			
所管部署	都市整備部・街づくり事業課・事業計画係・整備係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○調布3・4・26号線の整備 ・(旧甲州街道～甲州街道) ・(京王線～旧甲州街道) ○調布3・4・28号線の整備 ○調布3・4・32号線の整備 ○調布3・4・33号線の整備 ○調布3・4・21号線の整備 ○その他優先整備路線	■都市計画道路 ・調布3・4・11号線 ・調布3・4・21号線 ・調布3・4・26号線 ・調布3・4・26号線(みちまち) ・調布3・4・28号線(Ⅱ期) ・調布3・4・28号線(Ⅲ期) ・調布3・4・28号線(Ⅳ期) ・計画検討路線の検討 ■生活道路 ・事業中路線・優先整備路線の整備 ・機能確保のための総合的な取組	■都市計画道路 ・調布3・4・11号線 ・調布3・4・21号線 ・調布3・4・26号線 ・調布3・4・26号線(みちまち) ・調布3・4・28号線(Ⅱ期) ・調布3・4・28号線(Ⅲ期) ・調布3・4・28号線(Ⅳ期) ・計画検討路線の検討 ■生活道路 ・市道東110号線 ・市道北48号線	■都市計画道路 ・調布3・4・11号線 ・調布3・4・21号線 ・調布3・4・26号線 ・調布3・4・26号線(みちまち) ・調布3・4・28号線(Ⅱ期) ・調布3・4・28号線(Ⅲ期) ・調布3・4・28号線(Ⅳ期) ・計画検討路線の検討 ■生活道路 ・市道東110号線 ・市道北48号線 ・市道西123号線 ほか
	事業費(千円)	1,993,350	1,993,350	1,502,174
債務負担行為等による用地取得費	0	0	287,018	

計画コード	80	重点P	-	-
事務事業	人と環境にやさしい道路の整備			
所管部署	都市整備部・道路管理課・維持管理係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○人と環境にやさしい道路の整備推進	○人と環境にやさしい道路の整備 ・路面温度調査 ・主要12号線工事 ・主要32号線工事	○人と環境にやさしい道路整備 ・路面温度調査 ・主要市道12号線(品川通り) ・主要市道32号線(スタジアム通り)	○人と環境にやさしい道路整備 ・路面温度調査 ・主要市道12号線(品川通り) ・主要市道32号線(スタジアム通り)
		○無電柱化の推進 ・無電柱化推進計画策定 ・主要20号線基本調査	○無電柱化の推進 ・無電柱化推進計画策定に向けた検討 ・主要20号線基本調査	○無電柱化の推進 ・無電柱化推進計画策定に向けた検討 ・主要20号線基本調査
		○街路灯のLED化の推進 ・推進計画の策定 ・LED化事業実施	○街路灯のLED化の推進 ・推進計画の策定に向けた検討 ・LED化事業実施	○街路灯のLED化の推進 ・推進計画の策定に向けた検討 ・LED化事業実施
	事業費(千円)	255,216	255,216	245,482
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	81	重点P	-	-
事務事業	道路施設等の総合的な管理の推進			
所管部署	都市整備部・道路管理課・維持管理係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	道路施設等の計画的・効率的な維持管理の推進	○道路関連法規の整理 ○(仮)道路総合管理計画の策定検討 ・(仮)道路白書の作成 ・施設台帳の整備 ・道路台帳整備に係る調査 ・新たな道路管理手法の導入検討 ・適切な財産管理の検討	○道路関連法規の整理 ○(仮称)調布市道路総合管理計画の策定検討 ・(仮称)道路白書の作成 ・施設台帳の整備 ・道路台帳整備に係る調査 ・新たな道路管理手法の導入検討 ・適切な財産管理の検討	○道路関連法規の整理 ○(仮称)調布市道路総合管理計画の策定検討 ・(仮称)道路白書の作成 ・施設台帳の整備 ・道路台帳整備に係る調査 ・新たな道路管理手法の導入検討 ・適切な財産管理の検討
		○効率的な道路占有事務の取組 ・電子申請システムの検討	○効率的な道路占有事務の取組 ・電子申請システムの検討	○効率的な道路占有事務の取組 ・電子申請システムの検討
	事業費(千円)	183,590	183,590	171,677
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	82	重点P	-	-
事務事業	橋りょうの計画的な維持・補修			
所管部署	都市整備部・道路管理課・維持管理係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○橋りょうの安全確保の維持	○工事 ・スタジアム前歩道橋補修工事 ・品川通り歩道橋撤去工事	○工事 ・スタジアム前歩道橋補修工事 ・品川通り歩道橋撤去工事	○工事 ・スタジアム前歩道橋補修工事 ・品川通り歩道橋撤去工事(2橋)
		○測量・設計 ・神明橋耐震・補修設計 ・跨線橋補修設計	○整備実施設計 ・神明橋 ・日向橋ほか2橋(京王線跨線橋)	○整備実施設計 ・神明橋 ・仙川橋(京王線跨線橋)
		○点検 ・点検・台帳整備委託	○点検 ・点検・台帳整備委託	○点検 ・点検・台帳整備委託
		○調査 ・橋りょう塗装調査	○調査 ・橋りょう塗装調査	○調査 ・橋りょう塗装調査
	事業費(千円)	250,422	250,422	311,640
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	83	重点P	-	-
事務事業	地籍整備事業の推進			
所管部署	都市整備部・道路管理課・財産管理係			
活動内容	計画目標 当面、市道境界未確認地域の早期解消（主として道路区域線整備事業未実施地区における官民境界等先行調査の優先実施）	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
		○第七次国土調査事業十箇年計画の策定を踏まえた検討 ○地積整備計画の策定 ○地籍調査事業の実施	○第七次国土調査事業十箇年計画の策定を踏まえた検討 ○地積整備計画の策定に向けた検討 ○地籍調査事業の実施	○第七次国土調査事業十箇年計画の策定を踏まえた検討 ○地積整備計画の策定に向けた検討 ○地籍調査事業の実施
	事業費 (千円)	10,271	10,271	9,615
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

25 総合的な交通環境の整備			
主管課名	交通対策課		
主管課長名	坂本 主税	電話番号	042-481-7531
関係課名 (組織順)	環境政策課, 街づくり事業課, 道路管理課, 学務課		
目的	対象	市民, 市内公共交通機関の利用者	
	意図	安全, 快適, 円滑に目的地まで移動できる	
施策の方向	将来の交通需要や都市基盤の整備と合わせた効率的な公共交通ネットワークを形成するとともに, 交通安全対策の推進, 環境への負荷の少ない自転車利用の促進などを通じて, だれもが安心して移動できる総合的な交通環境が整ったまちづくりを進めます。		

< 施策と関連するSDGsの目標 (ゴール) >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
<p align="center">施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)</p>	
<p>(25-1 公共交通ネットワークの形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調布市ミニバス及び既存の路線バスについて, バス事業者と利用者の利便性向上 (地域の要望による既存路線バスの延伸や新規路線の運行を含む) について協議した。 自転車走行環境整備に向け関係機関との協議調整を進めた。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 調布市バリアフリー推進協議会を通じて, 公共交通をはじめとする各事業者の特定事業計画の進捗状況を把握するとともに, 当事者の声を各事業者に届け, バリアフリー推進を図った。
<p>(25-2 交通安全対策の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども交通安全教室を運営し, 子どもだけでなく親の交通安全意識の向上にも努めた。 自転車が関与した事故を減少させるため, 自転車安全利用講習会を開催したほか, スケアードストレイト方式による自転車交通安全教室を開催することで, 市民への啓発に努めた。 春と秋の交通安全運動など各種事業を通じて, 市民の交通安全に対する意識向上を図った。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校, 教育委員会, 園児交通安全防犯協会, 調布市, 調布警察署の合同で, 通学路等の安全点検を実施し, 連携を図り, 可能な対策を推進した。
<p>(25-3 自転車利用の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> つつじヶ丘駅, 調布駅, 西調布駅の各駅周辺で自転車等駐車を開設し利便性向上を図った。 ラグビーワールドカップ 2019 に合わせ, 駅前放置自転車クリーンキャンペーンを実施し, 市民への意識啓発を図った。 調布市自転車等対策実施計画について, 社会情勢等の変化に対応するための改定作業に着手した。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の利便性, 来街者の回遊性向上などを目的に, 庁内各部署と連携し, 気軽に自転車利用が可能なシェアサイクル事業の導入に向け実証実験を開始した。
<p>< 令和元年度における施策の成果についての総括 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者交通安全指導員講習会で, 市民団体の協力のもと免許証の自主返納についての啓発を行った。 自転車等駐車場の利用料金の見直しを行い, 調布駅周辺で一時利用が50%増えた自転車等駐車場があるなど利便性の向上を図った。 調布市自転車等対策実施計画の改定に着手し, 調布駅南地下自転車駐車場の代替案を作成した。 駅前放置自転車クリーンキャンペーンなどにより, 放置自転車撤去台数を前年度比で1,025台減少させた。 シェアサイクルの実証実験を開始し, 民間施設も含めてサイクルステーションを42箇所まで拡大した。 	

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標，◎：総合戦略における指標】		基準値 (基準年度)	単位	実績値 令和元年度	目標値 令和4年度
1	市内の公共交通機関（電車・バス）を利用しやすいと感じている市民の割合【☆，◎】	76.3 (H30)	%	75.2	77.0
2	市内における交通人身事故件数（暦年）【☆】	386 (H30)	件	424	370
3	自転車等駐車場の有料化整備率【☆，◎】	85.4 (H29)	%	90.2	92.3
【備考】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	84	重点P	—	—
事務事業	交通計画等の検討			
所管部署	都市整備部・交通対策課・交通対策係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○総合交通計画に基づく各種個別計画の策定	○総合交通計画の進行管理 ○バリアフリー特定事業計画の進行管理 ○自転車利用促進に向けた取組	○総合交通計画の進行管理 ○バリアフリー特定事業計画の進行管理 ○自転車利用促進に向けた取組	○総合交通計画の進行管理 ○バリアフリー特定事業計画の進行管理 ○自転車利用促進に向けた取組
	○交通バリアフリーの推進	・自転車走行環境の整備 検討 ・シェアサイクルの活用	・自転車走行環境の整備 検討 ・シェアサイクルの活用	・自転車走行環境の整備 (協議・調整) ・シェアサイクルの活用 ・自転車等対策実施計画の見直し
事業費 (千円)		3,040	3,040	2,292
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	85	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
事務事業	自転車等駐車場の整備・有料化			
所管部署	都市整備部・交通対策課・自転車対策係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○自転車等駐車場の整備有料化	○自転車等駐車場の整備・有料化 ・つつじヶ丘駅周辺整備 ・機械管理の導入（京王多摩川駅・飛田給駅）	○自転車等駐車場の整備・有料化 ・つつじヶ丘駅周辺整備 ・機械管理の導入（京王多摩川駅・飛田給駅）	○自転車等駐車場の整備・有料化 ・つつじヶ丘駅，調布駅，西調布駅周辺整備 ・機械管理の導入（京王多摩川駅，飛田給駅）
		○現況調査を踏まえた調布駅等各駅周辺の自転車等駐車場整備計画の検討 ○シェアサイクルの活用（再掲）	○現況調査を踏まえた調布駅等各駅周辺の自転車等駐車場整備計画の検討 ○シェアサイクルの活用（再掲）	○現況調査を踏まえた調布駅等各駅周辺の自転車等対策実施計画の検討 ○シェアサイクルの活用（再掲）
事業費 (千円)		239,860	239,860	240,700
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

26 地球環境の保全			
主管課名	環境部 環境政策課		
主管課長名	岡田 賢一郎	電話番号	042-481-7084
関係課名 （組織順）	契約課, 管財課, 文化生涯学習課, 緑と公園課, 下水道課, ごみ対策課, 街づくり事業課, 教育総務課		
目的	対象	市民, 事業者	
	意図	環境に負荷を与える活動を抑制する	
施策の方向	地球環境保全に係る情報提供及び学習の充実を図るとともに, 省エネルギーの取組や再生可能エネルギーの利用拡大を推進し, 環境負荷の少ない持続可能な社会の構築を目指します。		

＜施策と関連するSDGsの目標（ゴール）＞



1 令和元年度の振り返り — 取組実績（DO）

施策の成果向上に向けた主な取組実績 施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）

（26-1 地球環境保全意識の啓発）

- ・環境保全審議会の意見を踏まえ、「調布市環境基本計画改定の基本方針」を令和2年3月に決定した。
- ・「未来へつなぐ調布の環境～平成30年度環境年次報告書～」を発行し, 調布市環境基本計画の達成状況や調布市の環境状況のデータを公表した。
- ・「ちょうふ環境ニュース」や中学生向けの「みらいへつなごう～ちょうふのかんきょう～」を発行した。
- ・「エコ・クッキング講座」を開講して24組の親子が参加し, 地球温暖化防止の意識向上を図った。
- ・小中学生を対象とした「調布こどもエコクラブ」事業を5回開催して延べ152人の参加, 小学生を対象とした「調布水辺の楽校」事業を4回開催して延べ658人の参加があり, 小中学生の環境学習の充実を図った。

①横断的連携による施策の推進

- ・環境基本計画中間報告会を開催して45人の参加があり環境基本計画に掲げるこれまでの成果と課題を市民と共有し, 今後の取組について意見を聴取した。また, 市民アンケート調査を実施して計画見直しの参考とした。
- ・ちょうふ環境市民会議と協働で「環境講座～さよなら「使い捨て」生活～」を4回開講して延べ52人の参加があり, 環境に対する市民の関心を高め, 環境政策推進に係る担い手の育成を図った。また, 同会議との協働により環境活動交流会を実施して23団体の参加があり, 環境活動に関わる市民の交流がなされた。
- ・市と都立農業高校の相互連携基本協定に基づき都立農業高校の神代農場を活用して実施する「自然環境教室」を5回開催して延べ72人の参加があり, 武蔵野の自然や環境について学んだ。

②調布のまちの魅力発信

- ・多摩川自然情報館を活用した事業を実施し, 次代を担う子ども達の環境保全意識の向上を図った。

（26-2 地球環境保全行動の推進）

- ・「雑木林ボランティア講座」を6回開講して延べ81人の参加があり, 市内に残る雑木林の維持管理と技能の取得を目的とした活動を行った。
- ・「調布市環境モニター」を3回開催して延べ57人の参加があり, 植物等の観察・調査を行い, 環境保全行動に率先して取り組む人材の育成を図った。
- ・市民, 事業者による自主的な資源循環への取組, 廃家電製品の資源化事業の取組等により, 資源の有効利用がなされた。その結果, 総資源化率は42.4%となった。
- ・家庭用高効率給湯器の設置補助152件, 太陽光発電設備に対する補助65件を行い, 温室効果ガス排出量の抑制に努めた。

①横断的連携による施策の推進

- ・ちょうふ環境市民会議と協働で壁面緑化推進事業を行い, エコライフの推進を図った。
- ・地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき, 市の施設の省エネルギーに努めた。
- ・公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業は, 令和元年度の発電量が約99万3,000kWhであった。
- ・環境マネジメントシステムの方針に基づき, 庁内のグリーン購入を推進し, 環境負荷の低減に努めた。

②調布のまちの魅力発信

- ・多摩川自然情報館の夏祭り, 秋祭り, いきものフォトコンテストや環境フェアの開催を通して魅力を発信した。

＜令和元年度における施策の成果についての総括＞

- ・令和元年度も地球環境保全に係る各種イベントを開催し, 市民に対して地球環境保全意識の啓発を行った。また, 市報, ホームページ等の広報媒体を通して, 市民に積極的に環境情報の発信を行った。
- ・市が行う事務事業によって排出される温室効果ガスの排出量は1万4,528t-CO₂（基準値の平成29年度比で7.3%の減）となり, 地球温暖化対策事業の効果は現れているが, 削減の継続が必要である。

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標、◎：総合戦略における指標】		基準値 (基準年度)	単位	実績値 令和元年度	目標値 令和4年度
1	環境学習事業及び多摩川自然情報館で学習した延べ人数【☆】	1万 683 (H29)	人	1万 2,403	1万 1,000
2	公共施設における温室効果ガス総排出量【☆】(目標値は令和2年度)	1万 5,667 (H29)	t- CO ₂	1万 4,528	1万 4,389
【備考】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	86	重点P	-	-
事務事業	環境情報の提供と環境学習事業の推進			
所管部署	環境部・環境政策課・環境保全係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○環境年次報告書・広報誌等の発行による環境情報の提供 ○環境啓発事業の推進 ○環境学習の推進及び支援 ○環境学習施設の活用 ○環境保全に取り組む人材の育成 ○環境情報提供方法の多面化と充実	○環境情報の提供 ○環境啓発事業の推進 ○環境学習の推進及び支援, 各種学習事業等の再編成 ○環境学習施設の活用 ○環境保全に取り組む人材の育成 ○環境基本計画改定に向けた検討(地球温暖化対策実行計画区域施策編含む)	○環境情報の提供 ○環境啓発事業の推進 ○環境学習の推進及び支援, 各種学習事業等の再編成 ○環境学習施設の活用 ○環境保全に取り組む人材の育成 ○環境基本計画改定に向けた検討(地球温暖化対策実行計画区域施策編含む)	○環境情報の提供及び提供方法の多面化と充実 ○環境啓発事業の推進 ○環境学習の推進及び支援 ○環境学習施設の活用 ○環境活動に取り組む人材の育成 ○環境基本計画・地球温暖化対策実行計画の改定に向けた検討(市民アンケートや中間報告会の実施等)
		事業費(千円)	21,298	21,298
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	87	重点P	-	-
事務事業	地球温暖化対策の推進			
所管部署	環境部・環境政策課・環境保全係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○公共施設等における取組の実践 ○地域(市民・事業者)の取組促進と環境保全行動に率先して取り組む人材の育成 ○市民・事業者との連携による再生可能エネルギーの導入及び利用促進	○公共施設の実践 ○地域の取組促進 ○市民との協働による再生可能エネルギーの利用促進	○公共施設の実践(壁面緑化施設) ○地域の取組促進(ゴーヤの苗配布) ○市民との協働による再生可能エネルギーの利用促進(屋根貸しによる太陽光発電の実施)	○公共施設の実践(壁面緑化施設) ○地域の取組促進(ゴーヤの苗配布) ○市民との協働による再生可能エネルギーの利用促進(屋根貸しによる太陽光発電の実施)
		事業費(千円)	1,578	1,578
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

27 水と緑による快適空間づくり			
主管課名	環境部 緑と公園課		
主管課長名	香西 稔	電話番号	042-481-7080
関係課名 (組織順)	文化生涯学習課, 産業振興課, 農政課, 環境政策課, 下水道課, 都市計画課, 街づくり事業課, 道路管理課, 郷土博物館		
目的	対象	自然, 市民	
	意図	自然が保全・創出される, 自然との共生が図られる	
施策の方向	人と自然との共生を目指すために, 湧水, 公園, 崖線, 里山などの水辺や緑地を保全し, 連続性のある自然動植物の生息空間と緑豊かな美しい街並み・景観を形成する快適な空間づくりに取り組みます。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）	
<p>(27-1 水と緑の保全)</p> <ul style="list-style-type: none"> 崖線樹林地等における市民団体による保全活動や公遊園清掃協力などの市民や団体の保全活動への支援や人材の育成などにより協働による公園・緑地, 崖線樹林地の維持保全を進めた。また, 緑地の連続性や地域の特性を踏まえ, 緑の保全を図るため, 地域性緑地制度を活用し, 深大寺元町特別緑地保全地区において, 公有化を進めた。さらに, 深大寺自然広場における概ね 10 年後の将来像を見据えた崖線樹林地の保全管理計画の策定に向けた調査検討を行った。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■連携テーマ2 「にぎわいと潤いのあるまちづくり」 <ul style="list-style-type: none"> 緑の基本計画の検討では, 庁内組織である緑の基本計画策定推進連絡会を組織し, 連携を図った。 ■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」 <ul style="list-style-type: none"> ラグビーワールドカップ2019, 東京2020大会を緑と花があふれるまちとして迎えるため, 調布・西調布・飛田給の駅前で花いっぱい運動に取り組んだ。春の調布駅の花の植付けイベントでは, 調布スクラムフェスティバルと同日に実施し, 多くの市民に参加いただいた。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の特徴的な緑である崖線樹林地の保全を図るため, 深大寺自然広場の保全管理計画の策定を進めた。 	
<p>(27-2 水と緑の創出)</p> <ul style="list-style-type: none"> 京王線連続立体交差事業によって創出された線路跡地を有効活用するため, 鉄道敷地整備計画に基づき, 2箇所（相模原線（小島町2丁目）, 西側端部（下石原1丁目））の公園の整備に取り組んだ。 地域ニーズに合わせた整備を計画的に実施するため, 公園・緑地機能再編整備指針に基づき, 多摩川市民広場周辺地区における機能再編整備を進めた。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■連携テーマ2 「にぎわいと潤いのあるまちづくり」 <ul style="list-style-type: none"> 過年度に実施した鉄道敷地（相模原線）内での暫定開放による市民アンケート調査や整備に向けた市民との意見交換会の結果を公園整備に反映させた。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 「鬼太郎ひろば」の開園に伴い, オープニングセレモニーを開催したほか, 市報・市ホームページ等で周知し, 「水木マンガの生まれた街 調布」の魅力を発信した。 	
<p>(27-3 深大寺・佐須地域環境資源保全・活用の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 深大寺・佐須地域の田園風景の保全を目的として, 新たに公有地を取得した。 「雑木林ボランティア講座」, 「こどもエコクラブ」等を開催し, 市民の環境保全意識の啓発を図った。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■連携テーマ2 「にぎわいと潤いのあるまちづくり」 <ul style="list-style-type: none"> 深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画に基づき, 買取り申出に応じて調布市土地開発公社が先行取得した土地において, 環境教育・環境学習や市民の環境保全活動を行う場として暫定利用を行った。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 市と都立農業高校の相互連携基本協定に基づき都立農業高校の神代農場を活用して実施する「自然環境教室」を5回開催して延べ72人の参加があり, 武蔵野の自然や環境について学んだ。 	

<令和元年度における施策の成果についての総括>

- ・市内の湧水涵養・治水対策として、既存住宅、新規住宅、開発区域内、公園に 3,268 基の雨水浸透枳及び 3,300m の浸透トレンチを設置した。
- ・「調布らしい多様な緑をまもり、活用する」取組として、深大寺元町特別緑地保全地区において、約 3,571 m²を用地取得した。深大寺自然広場については、概ね 10 年後の将来像を見据えた崖線樹林地の保安全管理の保安全管理計画の策定に向け、調査・検討を進めた。
- ・公園施設長寿命化計画に基づき 5 基（5公園）の遊具を更新し、安全・安心な公遊園の維持を図った。
- ・ラグビーワールドカップ 2019、東京 2020 大会を緑と花があふれるまちとして迎えるため、調布・西調布・飛田給の駅前で花いっぱい運動を実施した。
- ・令和 2 年度に計画期間が満了する緑の基本計画について、次期計画策定に向けた調査・検討を進めた。
- ・公遊園における受動喫煙防止対策として、看板設置等により周知を図った。

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標、◎：総合戦略における指標】	基準値	単位	実績値	目標値
	(基準年度)		令和元年度	令和 4 年度
1 公共が保全する緑の面積【☆、◎】	149.07 (H29)	ha	149.29	149.70
2 市民一人当たりの公園面積【☆、◎】	5.54 (H29)	m ²	5.45	5.50 以上
3 区域での環境学習等の延べ参加人数【☆、◎】	6,023 (H29)	人	6,455	6,300
【備考】				

2 基本計画事業取組実績

計画コード	88	重点P	⑤	人となりが共生するうるおいのあるまち
事務事業	公園・緑地、崖線樹林地の保全			
所管部署	環境部・緑と公園課・みどりの推進係・管理係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○安全で快適な公園・緑地、崖線樹林地の維持保全・みどり率 36% の維持	○市民との協働による保全 ○崖線樹林地等の保安全管理計画策定(深大寺自然広場) ○花いっぱい運動の推進 ○公園施設長寿命化計画に基づく公園の改修工事 ○緑地の公有化・深大寺元町特別緑地保全地区 ○緑の基本計画改定のための調査検討 ○公園・公衆トイレ整備・改修計画策定 ○地域制緑地制度活用検討(深大寺・佐須地域)	○市民との協働による保全 ○崖線樹林地等の保安全管理計画策定(深大寺自然広場) ○花いっぱい運動の推進 ○公園施設長寿命化計画に基づく公園の改修工事 ○緑地の公有化・深大寺元町特別緑地保全地区 ○緑の基本計画改定のための調査検討 ○公園・公衆トイレ整備・改修計画策定 ○地域制緑地制度活用検討(深大寺・佐須地域)	○市民との協働による保全 ○崖線樹林地等の保安全管理計画策定(深大寺自然広場) ○花いっぱい運動の推進 ○公園施設長寿命化計画に基づく公園の改修工事 ○緑地の公有化・深大寺元町特別緑地保全地区 ○緑の基本計画改定のための調査検討 ○公園・公衆トイレ整備・改修計画策定 ○地域制緑地制度活用検討(深大寺・佐須地域)
	事業費 (千円)	741,503	741,503	737,902
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	89	重点P	⑤	人と自然が共生するうるおいのあるまち
事務事業	公園・緑地等の整備			
所管部署	環境部・緑と公園課・管理係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○計画終了年次における調布市緑の基本計画の目標の達成 ・市民一人当たり5.5㎡の公園面積の確保 ・公園不足地域の解消	○調布基地跡地留保地スポーツ・防災公園(協議・調整) ○鉄道敷地公園(西側端部・相模原線)整備 ○多摩川市民広場整備工事(～令和3年度)	○調布基地跡地留保地スポーツ・防災公園(協議・調整) ○鉄道敷地公園(西側端部・相模原線)整備 ○多摩川市民広場整備工事	○鉄道敷地公園(西側端部・相模原線)整備 ○多摩川市民広場階段工事
	事業費(千円)	154,200	154,200	149,085
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	90	重点P	⑤	人と自然が共生するうるおいのあるまち
事務事業	深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用			
所管部署	環境部・環境政策課・環境保全係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進 ・事業実施のための調査・検討 ・事業の推進 ・緑地の確保 ・庁内連携	○深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進 ・公有地化後の維持保全、暫定利用 ・農地周辺の環境整備等に係る協働事業の試行と確立後の事業実施 ・地域での環境事業の試行と確立後の事業実施 ・水路周辺の生物・水質調査の実施 ○佐須農の家の管理・運営 ・農業用井戸の維持管理	○深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画推進 ・公有化した土地を環境教育等の機会の場合として暫定利用 ・農業公園の都市計画決定及び運営検討 ・佐須の用水路の水質・水生生物調査の実施 ○佐須農の家の管理・運営 ・農業用井戸の維持管理	○深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画推進 ・公有化した土地を環境教育等の機会の場合として暫定利用 ・農業公園の都市計画決定及び運営検討 ・佐須の用水路の水質・水生生物調査の実施 ○佐須農の家の管理・運営 ・農業用井戸の維持管理
	事業費(千円)	2,757	2,757	2,650
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	526,237

28 ごみの減量と適正処理			
主管課名	環境部 ごみ対策課		
主管課長名	丸山 義治	電話番号	042-481-7811
関係課名 (組織順)	文化生涯学習課, 産業振興課, 環境政策課, 緑と公園課, 下水道課		
目的	対象	市民, 事業者	
	意図	資源循環型社会の形成に向け, 3Rを推進する	
施策の方向	広報, 啓発活動や支援事業の充実により, 市民・事業者による3R(リデュース=ごみの発生抑制, リユース=再利用, リサイクル=再資源化)の取組を推進します。また, ごみの安定処理と適正処理に努め, 資源循環型社会を目指します。		

< 施策と関連するSDGsの目標(ゴール) >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)	
<p>(28-1 3R推進によるごみの減量)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民や事業者への効果的なごみ減量と適正分別に向け, 様々な媒体・機会を活用し情報発信を行い, 意識啓発した。 ごみ減量の推進のため, イベント等を開催し, 排出抑制及び適正排出を促進した。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 第4回環境フェア開催時に, 東京都と連携しプラスチック製品(紙ストローの配布など)の削減に向けた周知を行った。 調布市ごみ減量及び再利用促進審議会と協力して, 第6回エコフェスタちょうふを開催し, 適切な分別, 食品ロス対策での庁内連携により, 排出抑制を推進した。 プラスチックごみに端を発したプラスチック削減を目的としたCHOFUプラスチック・スマートアクションを部内で協議・推進した。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> リサイクル先進市(人口10万人以上50万人未満の市で平成30年度はリサイクル率全国第8位) 広報については, ごみリサイクルカレンダー, ごみアプリ, 広報誌「ザ・リサイクル」, 市報でのごみダイエツト通信, 調布エフエム, テレビ広報ちょうふなど, 様々な媒体, 機会を通じて情報を発信した。 	
<p>(28-2 ごみの安定・適正処理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新クリーンセンターの本稼働を機に分別変更を行い, 利便性が向上した。 可燃ごみの焼却残さ(焼却灰)は, エコセメント化による再利用を図り, 最終処分量ゼロを維持した。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ふじみ衛生組合及び構成市である三鷹市との連携のもと, ごみの安定かつ適正な中間処理を継続して実施した。 25市1町で構成される「東京たま広域循環資源組合」のエコセメント化事業を継続した。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <p>「いじめや虐待のないまち宣言」PR事業として, 小学生の絵をごみ収集車に掲載し, 発信した。</p>	
<p>< 令和元年度における施策の成果についての総括 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 新クリーンセンターの本稼働を機に行った, 分別変更等について丁寧な情報発信を行い, 市民の利便性が向上した。 不法投棄の重点警戒地域を定期的にパトロールしたことにより, 不法投棄の件数が減少した。 	

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標，◎：総合戦略における指標】		基準値 (基準年度)	単位	実績値 令和元年度	目標値 令和4年度
1	市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量【☆】	374.2 (H29)	g	378.0	360.0
2	最終処分(埋立)量【☆】	ゼロ (H29)	-	ゼロ	ゼロ
【備考】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	91	重点P	-	-
事務事業	ごみの減量と資源化			
所管部署	環境部・ごみ対策課・減量対策係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○さらなるごみ減量，資源化を図る。	○広報・啓発 ○生ごみの減量対策 ○市民・事業者による自主的なごみ減量・資源循環の取組支援，助成 ○資源化の推進	○広報・啓発 ○生ごみの減量対策 ○市民・事業者による自主的なごみ減量・資源循環の取組支援，助成 ○資源化の推進	○広報・啓発 ○生ごみの減量対策 ○市民・事業者による自主的なごみ減量・資源循環の取組支援，助成 ○資源化の推進
	事業費 (千円)	82,199	82,199	77,091
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	92	重点P	-	-
事務事業	ごみの適正排出・適正処理の推進			
所管部署	環境部・ごみ対策課・業務係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○分別排出指導 ○ごみの適正選別 ○不法投棄対策 ○資源物持去り対策 ○ごみの適正処分	○分別排出指導 ○ごみの適正選別 ○不法投棄対策 ○資源物持去り禁止対策 ○ごみの適正処分	○分別排出指導 ○ごみの適正選別 ○不法投棄対策 ○資源物持去り禁止対策 ○ごみの適正処分	○分別排出指導 20件 ○ごみの適正選別 ○不法投棄対策 ○資源物持去り対策 ○ごみの適正処分 ○台風19号災害ごみ処理
	事業費 (千円)	878,502	878,502	717,369
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

29 快適な生活環境づくり			
主管課名	環境部 環境政策課		
主管課長名	泉 健一郎	電話番号	042-481-7561
関係課名 （組織順）	営繕課, 健康推進課, 下水道課, ごみ対策課, 住宅課, 街づくり事業課, 道路管理課, 教育総務課		
目的	対象	市民, 事業者	
	意図	安心して暮らせる環境を維持することができる	
施策の方向	生活環境被害の防止対策, まちの美化活動, 路上喫煙対策, 下水道の機能確保などについて, 市民, 地域, 事業者, 市がそれぞれの役割に応じた取組を進め, 市民が安心して暮らすことができる環境の維持を図ります。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績（DO）

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
<p style="text-align: center;">施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）</p>	
<p>（29-1 生活環境の維持向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染測定調査を2箇所の常時測定局と3箇所の移動式測定局で実施, 自動車騒音測定を市内5箇所（主要道路）で実施, 及び空間放射線量を毎月1回, 市内10箇所測定し市報・ホームページで公表した。 ・騒音・振動・悪臭等生活環境の苦情・相談について迅速かつ適切に対応した。 ・飼い主のいない猫対策として, 不妊・去勢手術費の一部を助成し, 狂犬病予防法に基づく畜犬登録事務, 狂犬病集合予防接種を実施した。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間放射線測定においては, 公園・小学校・保育園等市立施設所管課との連携で測定を実施した。 	
<p>（29-2 美化活動の推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マナーアップ清掃をはじめとする地域での自主的な清掃活動を支援し, 多摩川, 野川, 調布駅前クリーン作戦（一部荒天により中止）を継続して実施し, 清掃活動を推進した。 ・調布市受動喫煙防止条例に基づく京王線各駅周辺の路上等喫煙禁止区域において, 啓発活動を実施するとともに, 9月から平日の朝・夕の通勤時間帯にパトロールを実施した。喫煙マナー啓発事業も引き続き実施した。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年7月1日施行の「調布市受動喫煙防止条例」に基づく路上喫煙対策を, 庁内連携（受動喫煙対策庁内連絡会）のもと実施した。 ・ラグビーワールドカップ2019開催に向け, 地域住民, 東京都, 市が連携し, 飛田給駅前クリーン作戦を実施した。 <p>■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーワールドカップ2019開催に向けて, 東京スタジアム最寄り駅の飛田給駅前クリーン作戦を実施した。 	
<p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内京王線全駅周辺, 市が管理する公園や公共施設及び児童・生徒の通学施設周辺等の路上での喫煙禁止を条例で規定し受動喫煙防止対策を推進している。 	
<p>（29-3 持続的な下水道事業の推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度からの次期下水道総合計画となる（仮称）下水道総合ビジョンの策定準備として, 現状及び課題の整理や財政シミュレーション等を行った。 ・調布市下水道長寿命化計画に基づき, 布田・調布ヶ丘地区の管路・マンホール蓋の長寿命化対策工事を行った。また, 市域全体の最適化を図るストックマネジメントの導入準備として, 管路の劣化状況の詳細調査等を行った。 ・老朽化が進行している仙川汚水継ポンプ場について, 長期的なコスト及び災害時のリスク低減等のため, ポンプによる圧送方式から管路の新設による自然流下方式へ切替える方向性を決定した。 ・経営内容の明確化を進め経営基盤の強化や財政マネジメントの向上を図るため, 令和2年4月から下水道事業に公営企業会計を適用する条例を制定し, 公営企業会計方式で令和2年度予算を編成した。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーワールドカップ2019のマンホール蓋をデザインした紙コースターをイベント時に配布するほか, 市内中学校等へ配布した（1万6,000枚）。 	

②調布のまちの魅力発信

・「ゲゲゲの鬼太郎」のマンホール蓋をデザインしたマンホールカードを発行した（1万153枚配布）。

<令和元年度における施策の成果についての総括>

- ・生活環境に関する苦情・相談事案に迅速かつ適切に対応した結果、公害対策について不満を感じる市民の割合を低減することができた。一方、美化活動については悪天候（台風19号）の影響を受けた。
- ・下水道事業においては、下水道施設の計画的な管理を進めるとともに、下水道事業への関心を高めるべく紙コースター・マンホールカード等を活用した新たな情報発信に取り組むことができた。

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標、◎：総合戦略における指標】		基準値 (基準年度)	単位	実績値 令和元年度	目標値 令和4年度
1	騒音や悪臭などの公害対策について不満を感じる市民の割合【☆】	19.5 (H30)	%	13.8	20.0 未滿
2	美化活動に参加した市民の数【☆】	9,075 (H29)	人	4,428	1万 1,000
3	長寿命化対策工事やストックマネジメントに基づく対策工事済又は健全確認済管路延長【☆】	66.8 (H30)	km	68.0	68.8
【備考】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	93	重点P	-	-
事務事業	都市美化の促進と路上喫煙対策の推進			
所管部署	環境部・環境政策課・生活環境係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○美化活動の促進や喫煙マナー、路上喫煙防止の推進により、快適な生活環境の維持向上に努める。	○受動喫煙防止パトロールの実施（市内各駅） ○美化推進重点地区の支援 ○多摩川・野川・調布駅前・飛田給駅前クリーン作戦 ○喫煙マナーアップ対策の推進（受動喫煙等防止を含む） ○路上喫煙防止対策の推進	○受動喫煙防止パトロールの実施（市内各駅） ○美化推進重点地区の支援 ○多摩川・野川・調布駅前・飛田給駅前クリーン作戦 ○喫煙マナーアップ対策の推進（受動喫煙等防止を含む） ○路上喫煙防止対策の推進	○受動喫煙防止パトロールの実施（市内各駅） ○美化推進重点地区の支援 ○多摩川・野川・調布駅前・飛田給駅前クリーン作戦 ○喫煙マナーアップ対策の推進（受動喫煙等防止を含む） ○路上喫煙防止対策の推進
	事業費（千円）	12,367	12,367	16,977
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	94	重点P	①	防災・防犯の面で安全・安心に暮らせるまち
事務事業	下水道施設の機能維持			
所管部署	環境部・下水道課・管理係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○長寿命化計画に基づき、改築・更新工事を行う。○下水道施設の点検・調査を実施し、令和2年度に下水道ストックマネジメント計画策定を行い、改築・更新工事を行う。○下水道運営全体を再構築するため、令和2年度に次期下水道総合計画を策定する。○耐震診断を実施し、令和3年度に次期地震対策計画策定を行う。	○下水道施設の計画的・効率的な維持管理 ・ストックマネジメント計画策定に向けた検討 ・長寿命化対策工事（布田・調布ヶ丘地区） ○次期下水道総合計画策定に向けた検討 ○地震対策の推進 ・管路耐震診断	○下水道施設の効率的・計画的な維持管理 ・ストックマネジメント計画策定に向けた検討 ・長寿命化対策工事（布田・調布ヶ丘地区） ○次期下水道総合計画策定に向けた検討 ○地震対策の推進 ・管路耐震診断	○下水道施設の効率的・計画的な維持管理 ・ストックマネジメント計画策定に向けた検討 ・長寿命化対策工事（布田・調布ヶ丘地区） 人孔蓋交換 328基 管路対策工事 1.2km ○次期下水道総合計画策定に向けた検討 ○地震対策の推進 ・地震対策基本方針決定 ・管路耐震診断 5.2km
	事業費（千円）	308,074	308,074	330,782
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

30 平和・国際交流施策の推進			
主管課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課		
主管課長名	佐々木 淳	電話番号	042-481-7541
関係課名 (組織順)	福祉総務課, 公民館, 図書館, 郷土博物館		
目的	対象	市民	
	意図	平和の尊さを理解し、後世に語り継いでいく 多様な文化が尊重される, 多文化共生を推進する	
施策の方向	市民一人一人が、国際交流を通じた相互の理解を深める中で、多様な文化が尊重され、平和に暮らすことができる共生のまちづくりを進めます。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
<p align="center">施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）</p> <p>(30-1 平和社会の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流平和基金を活用し、平和に関する取組を掲載した情報紙「ピース・レターちょうふ」の発行、市内在住・在学の中学生 12 人をピースメッセンジャーとして被爆地である広島へ派遣し、その成果を広く市民へ還元する広島平和派遣事業を実施した。 広島平和派遣事業では、派遣後に各種平和祈念事業やラグビーワールドカップ 2019 関連イベントでの発表及び市民との意見交換や、青少年ステーションCAPSでの報告会、市特別職への報告会を行ったほか、ピースメッセンジャーが制作したメッセージボードを市内公共施設等で展示し、派遣で学んだ成果の市民への還元を図った。 そのほか、折り鶴プロジェクト、原爆展、平和フェスティバル、平和バス見学会、市民団体との共催による神田さち子ひとり芝居「帰ってきたおばあさん」の公演、郷土博物館・中央図書館での平和に関する展示、戦争体験映像等記録DVDの作製・配付など、各種平和祈念事業を実施し、戦争体験の継承や平和について考える機会の提供に努めた。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 平和祈念事業を実施している関係部署（文化生涯学習課、福祉総務課、公民館、郷土博物館、図書館）で平和事業連絡会を2回開催し、所管する情報共有を行うとともに、事業間の連携や平和施策全体の効果的な展開に向けた協議を行った。 平和事業連絡会における連携の成果として、「ピース・レターちょうふ」を活用して夏休み期間中に開催の平和祈念事業を巡るスタンプラリーを実施し、事業の周知、参加の促進、回遊性の向上を図った。 広島平和派遣事業では、派遣前・派遣後の学習会において青少年の健全育成を目的としたNPO 法人との連携により、効果的な学習を行うことができた。 <p>■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京 2020 大会関連イベントやラグビーワールドカップ 2019 関連イベントにおいて平和ブースを出展し、オリンピックの理念に通じる平和の尊さや大切さを考える機会を創出した。 「ピース・レターちょうふ」を活用したスタンプラリーの参加賞として、東京 2020 大会記念バッジを活用し、大会の機運醸成を図った。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 調布市では、昭和58年に市議会による「調布市非核平和都市宣言」、平成2年に市による「調布市国際交流平和都市宣言」を行っており、両宣言の理念に基づき、各種平和祈念事業を展開している。 <p>(30-2 国際交流と多文化共生の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調布市国際交流協会（CIFA）では、定例サロンや文化交流など各種交流事業や日常生活で必要な日本語学習の機会を提供するなど外国人に対しての様々な支援と交流を行った。 市とCIFAの共催事業として、国際理解講座や留学生との交流事業、バスツアー等を実施し、市民の国際交流及び多文化共生の促進を図った。 国際交流平和基金を活用した小学生英語体験事業「調布でおもてなし～夏休み・小学生編～」について、CIFAと連携し、味の素スタジアム周辺における道案内を学ぶなど、より実践的な内容で実施した。 ホストタウンであるサウジアラビア王国との交流として、アラブイスラーム学院訪問やアラビア語講座、サウジアラビア文化展・講演会等を実施し、市民がアラビア文化に触れる機会を創出し、交流の発展につなげた。 	

①横断的連携による施策の推進

- ・CIFA、東京都、市防災部門の連携により、武蔵野の森総合スポーツプラザで開催された「外国人のための防災訓練」や「調布市防災ガイド～やさしい日本語版」の作成を通じて、災害弱者である外国人支援に取り組んだ。
- ・CIFAと東京都との共催により、外国人が安心して過ごせる環境づくりとして、「外国人おもてなし語学ボランティア」を育成する講座を実施した。

■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」

- ・CIFAでは、2019年・2020年来日する外国人を調布の地でおもてなしできるように、若い世代（中高生）が実践の場で使える英語を学び外国人と交流する講座「調布でおもてなし～夏休み・中高生編～」を開催したほか、一般市民が母語である日本語によるおもてなしを目指す「やさしい日本語」についての講演・ワークショップを実施した。
- ・ラグビーワールドカップ2019開催期間中に、調布駅前で開催した「スクラムフェスティバル」において、CIFAのPRブースを設け、外国人向けのパンフレット等の展示、配布を行うとともに、「調布でおもてなし講座」等に参加した小中高生による外国人への英語インタビューを行った。
- ・東京2020大会（オリンピック）1年前イベント「サマーフェスティバル2019」・ラグビーワールドカップ2019開催期間中の「スクラムフェスティバル」に、サウジアラビア文化を紹介するブースを出展、サウジアラビアからの留学生が参加し、市民や来場者との交流を図った。

②調布のまちの魅力発信

- ・2002年サッカーワールドカップ日韓大会以降、様々な事業・イベントを通じてサウジアラビア王国との交流を継続し、東京2020大会に向け調布市が同国のホストタウンとして承認され、交流をさらに発展させている。

<令和元年度における施策の成果についての総括>

- ・平和施策については、「調布市非核平和都市宣言」及び「調布市国際交流平和都市宣言」の理念に基づき、庁内関係部署や市民団体等が連携しながら、各種平和祈念事業を展開し、市民に平和について考える機会を提供した。
- ・基本計画に継続事業として位置付けた被爆地への平和派遣事業では、派遣後その成果について、各種平和祈念事業等の発表・市民との意見交換、青少年ステーションCAPSでの報告会、メッセージボードの市内公共施設等での展示、報告書の作成等を通じて、広く市民への還元を図った。
- ・国際交流施策については、調布市国際交流協会（CIFA）との連携により、各種交流事業や日本語学習の機会の提供などの外国人支援を行ったほか、国際理解講座や留学生との交流事業、バスツアー等を実施し、市民の国際交流及び多文化共生の促進を図った。
- ・ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会に向けては、小学生英語体験事業「調布でおもてなし～夏休み・小学生編～」 「調布でおもてなし～夏休み・中高生編～」 「やさしい日本語」についての講演・ワークショップなどの実施により、来日する外国人を調布の地でおもてなしできるように人材育成を図った。
- ・ホストタウンであるサウジアラビア王国との交流では、アラブイスラーム学院訪問やアラビア語講座、サウジアラビア文化展・講演会等を実施するとともに、「サマーフェスティバル2019」「スクラムフェスティバル」に留学生が参加するなど、市民がアラビア文化に触れる機会を創出し、交流の発展につなげた。

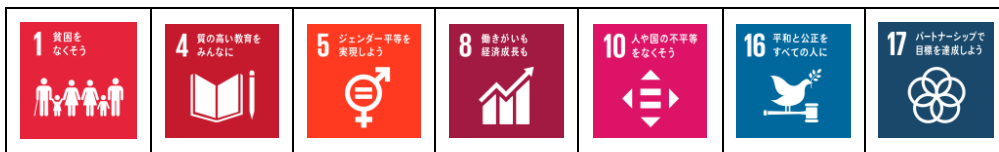
まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標、◎：総合戦略における指標】	基準値 (基準年度)	単位	実績値 令和元年度	目標値 令和4年度
1 戦争についての話をしたり、聞いたりしたことがある市民の割合【☆】	84.9 (H30)	%	83.6	90.0
2 国際交流・多文化共生事業の参加者数【☆】	2,482 (H29)	人	2,986	3,000
【備考】国際交流・多文化共生事業の参加者数（内訳）アラブ・イスラーム学院訪問 55 人、アラビア語講座 133 人、サウジアラビア文化展（展示）783 人（講演会）112 人（調理体験）15 人、CIFA（広報事業）120 人（交流事業）777 人（日本語教室）589 人（多文化共生事業）127 人（オリパラ関連事業）275 人				

2 基本計画事業取組実績

計画コード	95	重点P	-	-
事務事業	平和祈念事業の実施			
所管部署	生活文化スポーツ部・文化生涯学習課・文化生涯学習係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○平和の尊さを訴え、次世代に引き継ぐための平和祈念事業の実施 ○市内平和事業連絡会を活用し、幅広い平和事業を展開 ○戦争体験の継承	○各種平和祈念事業の実施 ・ピースレターちょうふ発行 ・原爆展開催 ・戦争体験映像記録作成 ○被爆地への派遣事業の実施	○各種平和祈念事業の実施 ・ピースレターちょうふ発行 ・原爆展開催 ・戦争体験映像記録作成 ・折り鶴プロジェクトの実施 ○被爆地への派遣事業の実施	○各種平和祈念事業の実施 ・ピースレターちょうふ発行 ・原爆展開催 ・戦争体験映像記録作成 ・折り鶴プロジェクトの実施 ○被爆地への派遣事業の実施
		事業費 (千円)	3,353	3,353
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0
計画コード	96	重点P	-	-
事務事業	国際交流の促進			
所管部署	生活文化スポーツ部・文化生涯学習課・文化生涯学習係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○外国人が地域で生活しているように日本語習得等を支援する ○外国人と日本人が共に暮らしている地域社会づくりを進める ○市民の多様な文化への理解を促進する	○英語体験事業の実施 ○国際交流事業の推進 ・東京2020大会等の機会をとらえた各種イベントの開催、ボランティア育成、ホストタウン事業の展開	○英語体験事業の実施 ○国際交流事業の推進 ・東京2020大会等の機会をとらえた各種イベントの開催、ボランティア育成、ホストタウン事業の展開	○英語体験事業の実施 ○国際交流事業の推進 ・東京2020大会等の機会をとらえた各種イベントの開催、ボランティア育成、ホストタウン事業の展開
		事業費 (千円)	24,697	24,697
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

31 人権の尊重・男女共同参画社会の形成			
主管課名	市民部 市民相談課		
主管課長名	花岡 裕	電話番号	042-481-7031
関係課名 （組織順）	総務課, 人事課, 文化生涯学習課, 協働推進課, 男女共同参画推進課, 産業振興課, 子ども政策課, 福祉総務課, 生活福祉課, 高齢福祉担当, 障害福祉課, 健康推進課, 指導室		
目的	対象	市民・事業所	
	意図	人権の大切さについて理解を深め、一人一人の人権を尊重する 男女が互いを理解し、尊重し、性別にとらわれることなく、能力、個性を發揮できる	
施策の方向	市民一人一人が、個人の能力、環境、個性について偏見を持つことなく、理解を深める中で人権が尊重され、性別に関わりなく男女が社会のあらゆる分野で対等なパートナーとして理解し合い、能力、個性を發揮できる社会の実現を目指します。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績（DO）

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）	
<p>(31-1 人権尊重の社会づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員による啓発活動（中学生人権作文コンテスト、子どもたちからの人権メッセージ発表会、人権の花運動、小中学校訪問、小学校朝礼講話）の実施を支援するとともに、人権擁護委員を相談員とする人権身の上相談を実施した。 男女共同参画推進センターでは、男女が互いに人権を尊重する意識を醸成するため、講座や展示等を行った。 DV防止の意識啓発として、パープルリボンの配布や文化会館たづくりでの展示、ワークショップ等を行った。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> DV防止の啓発事業では、DVと密接な関係がある児童虐待防止の「オレンジリボンキャンペーン」と連携して実施した。また、啓発物の配布・配架等は、相互友好協力協定締結大学や市内事業所にも協力をいただいた。 若年層へのDV防止啓発のため、市立中学校3校でデートDV防止出前講座を企画した（新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催中止）ほか、市内都立高校にDVを特集したセンター通信を配布した。 ■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」 LGBTへの理解を深める情報紙を職員に配信し、多様な性の尊重について意識向上を図った。 ■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員と連携して多文化共生をテーマとしたパネルディスカッションと箏のコンサートを実施した。 	
<p>(31-2 男女共同参画社会の実現)</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性が直面する諸問題の解決の支援のため、面接相談、電話相談、グループ相談を実施した。 女性活躍推進法に基づく取組として、市内で自分らしく働く女性を市報・ホームページで紹介した。 政策決定過程への女性参画促進のため、各種審議会等の女性委員比率を検証するチェックリストを運用した。 女性職員の活躍推進等の取組として、メンター相談制度やナイスボス・グッドパートナー研修、女性のためのキャリア開発セミナーなどの各種研修を実施した。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民と協働し、男女共同参画推進フォーラムを実施した。17団体が参加・協力し、1,748人が参加した。 市内女子大学にて、センター相談員による女性の「キャリア研究」についての講演を実施した。 産業労働支援センターと連携し、セミナーの共催や、支援を受けて起業した女性を「市内で自分らしく働く女性」として市報等で紹介するなどした。 ■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」 女性オリンピックを招き、女性が輝く社会の実現や多様な生き方について考える講演会を企画した（新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催中止）。 ■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」 バリアがない共生社会の実現のため、男女共同参画の視点から、多様な啓発事業を実施した。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内で自分らしく働く女性の紹介事業では、調布を代表する観光地である深大寺で働く女性を取り上げるなど、調布のまちの魅力に合わせて発信することに努めた。 女性職員の活躍推進等の取組が、総務省発行の地方公務員における女性活躍・働き方改革推進のためのガイドブックにおいて先進事例として紹介されている。 	

<令和元年度における施策の成果についての総括>

- ・小中学校での人権啓発活動など人権擁護委員と連携した事業を展開し、人権啓発を推進した。
- ・人権擁護委員を相談員とする人権身の上相談を実施し、相談者への適切な支援に努めた。
- ・男女共同参画推進センターの利用者や男女共同参画推進フォーラムの参加者は前年度よりも増加し、多くの市民に男女共同参画について考える機会を提供できた。
- ・DV防止の啓発事業では、児童虐待防止キャンペーンと連携して実施したほか、新たに市内事業者にも協力いただくことで、より効果的かつ広範囲にDV未然防止の啓発が実施できた。
- ・チェックリスト等により、政策決定過程への女性参画を促したが、審議会等における女性委員比率は目標に達していない。
- ・各種研修を通じた職員の意識改革に加え、メンター相談制度の継続実施、職員のワーク・ライフ・バランスの推進などの様々な取組により、女性職員が活躍できる職場環境の整備を推進することができた。

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標、◎：総合戦略における指標】	基準値	単位	実績値	目標値
	(基準年度)		令和元年度	令和4年度
1 人権教育・啓発事業への参加者数【☆】(目標値は令和元～4年度の4箇年累計)	7,648 (H29)	人	8,461	3万 1,000
2 市の審議会や委員会における女性の割合【☆】	31.6 (H30)	%	31.6	40.0
3 家事や子育て、介護など家庭内での役割は男女が共に担う必要があると考える市民の割合【◎】(目標値は令和元年度)	94.7 (H27)	%	95.7	<u>95.0</u> 以上
【備考】				

2 基本計画事業取組実績

計画コード	97	重点P	-	-
事務事業	男女共同参画啓発・相談事業の実施			
所管部署	生活文化スポーツ部・男女共同参画推進課・男女共同参画推進係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○男女共同参画を推進するための事業の実施 ○男女共同参画に関する情報提供 ○市民・団体との協働事業の実施 ○女性のための相談事業の実施 ○男女共同参画コーディネーターの充実	○意識啓発事業の実施(あくろす15周年記念事業及びオリンピック講演会含む) ○市民・団体との協働事業の実施 ○女性のための相談事業の実施 ○男女共同参画コーディネーターの設置 ○女性活躍推進事業の実施	○意識啓発事業の実施(あくろす15周年記念事業及びオリンピック講演会含む) ○市民・団体との協働事業の実施 ○女性のための相談事業の実施 ○男女共同参画コーディネーターの設置 ○女性活躍推進事業の実施	○意識啓発事業の実施(あくろす15周年記念事業及びオリンピック講演会含む ※ともに開催中止) ○市民・団体との協働事業の実施 ○女性のための相談事業の実施 ○男女共同参画コーディネーターの設置 ○女性活躍推進事業の実施
	事業費 (千円)	15,273	15,273	14,132
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0